

.....様

説明日.....年.....月.....日

担当薬剤師.....

## ★治療について

| レジメン名    | 1コースの期間 | 診療科   | 適応疾患    | コース数 | コース開始日 |
|----------|---------|-------|---------|------|--------|
| mFOLFOX6 | 14日間    | 外科・内科 | 結腸・直腸がん | コース目 |        |

## ★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで繰り返し行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

| 投与順 | 投与経路     | 薬品名                      | 投与量<br>投与時間                                       | 実際の<br>投与量 | 実施日 |      |
|-----|----------|--------------------------|---|------------|-----|------|
|     |          |                          |   |            | 1   | 2~14 |
| 1   | 点滴<br>静注 | グラニセトロン<br>(吐き気止め)       | 3mg/100mL<br>30分                                  | 3mg/100mL  | ●   |      |
| 2   | 点滴<br>静注 | オキサリプラチン<br>5%ブドウ糖注250mL | 85mg/m <sup>2</sup><br>2時間                        | mg         | ●   |      |
| 2   | 点滴<br>静注 | レボホリナート<br>5%ブドウ糖注250mL  | 200mg/m <sup>2</sup><br>2時間                       | mg         | ●   |      |
| 3   | 点滴<br>静注 | フルオロウラシル<br>生理食塩液50mL    | 400mg/m <sup>2</sup><br>全開で                       | mg         | ●   |      |
| 4   | 持続<br>静注 | フルオロウラシル<br>生理食塩液50mL    | 2400mg/m <sup>2</sup><br>46時間<br>携帯型デイスポンザブル注入器使用 | mg         | ●   |      |

## ★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

## ★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」: 碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載

FAX(地域連携室): 0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL: 0566-48-5050(代表)

## mFOLFOX6の副作用について

### ★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

| 副作用        | 発現時期(日) |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
|------------|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|--------|--|
|            | 1       | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15日目以降 |  |
| 白血球減少      |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 貧血         |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 血小板減少      |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 悪心・嘔吐・食欲不振 |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 下痢         |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 末梢神経障害(急性) |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 末梢神経障害(慢性) |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 倦怠感        |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 皮膚症状       |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 口内炎        |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |
| 過敏症        |         |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |        |  |

### ★起こりやすい副作用と対策

#### 〈血液検査からわかる副作用〉

#### ● 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

#### ● 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

#### ● 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

#### 〈ご自分でわかる副作用〉

#### ● 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

#### ● 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりとりましょう。

#### ● 末梢神経障害

投与後、冷たい物に触ると、一時的に手足にピリピリとした痛みが出ることがあります。しかし、投与する回数が増えると、常に手足がしびれた状態になり、回復するまでに時間がかかります。しびれが強い時は、治療を休んだり、中止することもあります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

### ● 倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

### ● 皮膚症状

手のひらや足の裏が赤くはれたり、皮膚や爪が黒くなったりすることがあります。皮がめくれたり、ヒリヒリ・チクチクするような痛みがある時は主治医に申し出て下さい。

### ● 口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることもあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

### ● 過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹がでる』『顔がほてる』『汗がでる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

## ★すぐに連絡をいただきたい副作用

★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」(過敏症)

★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050